

子育て

子育て支援センター

活動状況報告

★体育館で遊ぼう！の会
7月8日(金)

梅雨時には外で遊べない日が多いので、場所を色見総合センターに移し、広いスペースで思いっきり体を動かして発散してもらおうという会を企画しました。

まず、隣にある色見保育園の施設内を見学しました。木の温もりのある建物や新しい設備に、皆で感心。その後、色見総合センターに戻り、段ボール箱で作った車・ラップの芯で作ったボールリング遊び・大きなビニール袋に子どもを入れてゆらゆらする遊び・新聞紙で作ったカタツムリに風船を乗せて引っ張りっこ・ミニバレーボール遊び等、親子や気の合う友だちと一緒に様々な遊びに時間の経つのも忘れ、興じていました。



★ベビーマッサージの会

7月22日(金)

今月は、生後3ヶ月～6ヶ月児とお母さんが9組集まりました。

初めは、少々緊張気味でしたが、講師の優しい語りとわらべ歌にのせて、体中をさすったり、ねじったり、ツボを押したりしている内に、子どもからお母さんからも笑みがこぼれ、マッサージを楽しみました。

今回は、申込が多かったので、8月にも実施することになりました。その次は、10月の予定です。

★おはなし会

今回は、大雨洪水警報発令のため、中止しました。

10月は、「おはなし会」・「わらべうたの会」の他に、「公園で遊ぼう！の会」を予定しており、町内にある公園の木陰で積み木を手作りします。

問 子育て支援センター

☎ (62) 3311

福祉

年金だより

国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ

国民年金保険料の免除、納付猶予、学生納付特例の承認を受けた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金の受取額が少なくなります。

将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、免除等を受けた期間の保険料については、10年以内であれば遡って納める(追納)ことができます。

ただし、免除等の承認を受けた期間の翌年度から追納のお申し込みを希望される方、またはご相談に

問 住民福祉課 福祉係 ☎ (62) 1111 内線132

年金相談は
完全予約制です
毎月第4金曜日
10時～15時
高森総合センター
熊本東年金事務所
☎096-367-2503

税務

国税だより

記帳の仕方が分からない方へ

税務署では、新しく事業を始めた方や記帳の仕方が分からないといった方を対象に、指導機関による会計ソフトを利用した記帳指導などを無料で行っています。

会計ソフトを利用すれば、日々の取引内容を入力するだけで、簡単に記帳できます。記帳指導の内容は最寄の税務所にお尋ねください。



節水を心がけ、熊本の天然地下水を守ろう！

●限りある水資源●

私たちは1日にどれくらい水を使っているでしょうか？

熊本県では水道使用量が、一人1日当り300リットル以上と言われています。

「蛇口をひねればミネラルウォーター」というように、

水に恵まれた熊本に暮らしていると、水のありがたさを忘

れがちです。しかし、近年、県内の一部の地域では、地下水の水位低下や湧水の減少など、将来の水利用が危ぶまれる状況も見られています。

私たちが、これからも豊かな水の恩恵を受け続ける

ためには、水の恵みに感謝し、水を大切に使うことが必要です。できることから実践して、節水に取り組んでみましょう。

暮らしの中で、できる節水

●歯磨きはコップを使おう

1分間、水を流しっぱなしで歯磨きをすれば約6リットルの水を使いますが、コップを使えば一人3杯でも約0.6リットルで済みます。(1回

当たり約5.4リットルの節水)

●食器洗いは、「ため洗い」

勢いよく流すと1分間に約12リットルの水が流れま

す。適当な水量を心がけましょう。流し洗いでは1日約120リットルの水を使いますが、ため洗いでは約37リットルです。(1日当たり約83リットルの節水)

●シャワーはこまめに閉

1分間、流しっぱなしにすると約12リットルの水が流れます。こまめに開け閉めし、3分間シャワーを止めれば1回につき約36リットルの水が節約できます。

問 熊本県環境立県推進課 ☎096(333)2272

「森林を見直そう！」 ～森林所有者に大切なお知らせ～

熊本県では、豊かな森林資源を最大限に利活用した林業の成長産業化の実現に向け、木材を低コストで安定的に供給できる体制を整備するため、『森林の集約化』に取り組んでいます。森林の経営・管理にお悩みの方も、どうぞお問い合わせください。

問 熊本県庁森林整備課 ☎096-333-2441



シリーズ防災

今回のシリーズ防災は竜巻の説明と、その対策について掲載します。質問や要望がございましたら、気軽に問い合わせください。
高森町役場 総務課 防災官 吉田 ☎62-1111 内線114

6. 竜巻

①竜巻による被害の特徴

短時間で帯状(数分～数十分で長さ数～数十km・幅数十～数百mに被害をもたらす、被害地域は帯状となる)の範囲に甚大な被害をもたらす、建物が倒れたり、車がひっくり返ることがある。
また、色々なものが猛スピードで飛んでくる。

②竜巻が発生する可能性を知るには

1日～半日前であれば天気予報、数時間から直前では雷注意報や竜巻注意報が出されます。

* 竜巻は積乱雲(入道雲)が発達すると発生する可能性が高くなります。

③ 竜巻の発生を確認したら (身を守るための行動)

ア 屋内にいる場合は雨戸、シャッター、窓及びカーテンを閉めて窓から離れ、地下室や建物の最下階へ移動する。ドアや外壁から離れ、家の中心部に移動し、丈夫な机の下などに入り身を守る。

イ 屋外にいる場合は近くの丈夫な建物に避難する。避難できる建物がない場合は、側溝や水路、窪みに身を伏せて両腕で頭と首を守る。

注意：
車庫や物置、プレハブなど強度の低いものを避難場所にしない。

